

日付	令和7年11月27日(木)
担当課	観光戦略課
電話番号	0742-34-4739

今こそ「相互尊重」と「対話」を。

国際特別都市建設連盟、「松江宣言」を発表



国際特別都市建設連盟は、戦後復興期に世界平和に貢献する国際都市を整備し、復興に寄与することを目的とした「国際観光文化都市整備のための財政上の措置等に関する法律」などに基づく、9市1町で構成されています。本連盟は、加盟都市相互の友好を深めるとともに、自治の進展や文化資源の整備、災害時の相互支援といった施策を連携させ、交流を促進しています。

令和7年10月23日、松江市で開催された首長会議において、本連盟は「国際」の名を冠する組織として、世界における分断のリスクの高まりや異文化理解に慎重さが広がる状況に対して強い懸念を共有しました。

会議でまとめられた「松江宣言」は、ポスト万博時代において世界と協調しながら国際交流を推進し、都市間の連携を通じて国際都市として日本の持続的な発展を牽引していくという理念と方向性を示すものです。

【トピックス】

- ◆ 「松江宣言」により、国際都市としての独自性と歴史を生かし、「国際特別都市建設連盟」の加盟都市である10自治体が連携して国際交流を推進する姿勢を明確化。
- ◆ 宣言では「相互尊重と対話」「若者による異文化の理解と学び、創造」「連携による国際交流の推進」の3つを軸に、国際交流の大きな推進力となることを目指す。

1. 「国際特別都市建設連盟」とは

【設立】

昭和 27 年（1952 年）4 月 15 日

【連盟の目的】

国際特別都市建設連盟とは、「国際観光文化都市の整備のための財政上の措置等に関する法律」が適用される都市により構成されています。

加盟都市相互の友好を深め、自治の進展を図るとともに、加盟都市にかかる特別建設法及び国際観光文化都市の整備のための財政上の措置等に関する法律の運用、計画及び実施に関し、促進を図ることを目的に発足しました。現在、9 市 1 町が加盟。

【加盟自治体：10 自治体（9 市 1 町） ※名簿順】

加盟市町	市町紹介	ホームページ
別府市 (国際観光温泉文化都市)	温泉天国ここにあり。地球のエネルギーあふれる豊かなまち。別府	
伊東市 (国際観光温泉文化都市)	花と海といでゆの街・伊東	
熱海市 (国際観光温泉文化都市)	住む人が誇りを訪れるひとに感動を誰もが輝く楽園都市 熱海	
奈良市 (国際文化観光都市)	市民が育む世界の古都奈良～豊かな自然と活力あふれるまち～	
松江市 (国際文化観光都市)	小泉八雲が愛した歴史と文化の薫るまち水の都・松江	
芦屋市 (国際文化住宅都市)	庭園都市という名がふさわしいまち・芦屋	
松山市 (国際観光温泉文化都市)	いで湯と城と文学のまち松山	
軽井沢町 (国際親善文化観光都市)	自然と文化が奏でる軽井沢	
日光市 (国際観光文化都市)	四季の彩りに風薫るひかりの郷・日光	
鳥羽市 (国際観光文化都市)	豊かな自然と新鮮な海の幸、真珠のようにきらり輝くまち・鳥羽	

2. 「松江宣言」の策定

令和7年10月23日、国際特別都市建設連盟は松江市において首長会議を開催し、加盟都市の資源を活かした国際交流に係る取組の推進について意見交換を行いました。

同会議では、国際都市であることを共有する連盟として、文化や伝統などを基盤に未来世代の国際理解を育む取り組みを強化していくことが重要との認識を共有しました。

特に、「若者の海外派遣において得られた学びが参加者以外へ広がりにくい」という共通課題が上がり、加盟都市間で連携できる取組を検討することとなりました。併せて、検討姉妹都市交流や国際交流の現状、効果が高いと考えられる取組、将来像についても情報共有を行いました。

こうした議論を踏まえ、ポスト万博の現在において加盟都市が世界と協調しながら、国際交流による発展を牽引することの重要性を確認した結果、これらの考えを広く発信するため、連盟としての理念と方向性を示す「松江宣言」が本連盟で取りまとめられました。

（1）国際特別都市建設連盟首長会議の開催

日時：令和7年10月23日（木）

場所：島根県松江市

内容：加盟都市による国際交流の現状・課題・将来像の協議

（2）議題

- 加盟都市の資源を活かした国際交流の取組
- 若者の海外交流が参加者以外に波及しにくい課題の共有

（3）議論の結果

- 次世代が得た学びを広く共有する仕組みづくりが重要との共通認識
- 加盟都市間で連携できる取組の検討
- 国際都市として世界と協調し、国際交流による発展を牽引するべきとの考えを共有

3. 今後の取組

「松江宣言」の理念・方向性を具体化する取組として、国際特別都市建設連盟では、海外派遣経験のある加盟都市の学生を対象に、その経験で得た学びなどを共有する機会を設けることを検討しています。

この取組は、未来世代たる学生が、海外派遣を通して得た多様な文化の理解に自分なりの解釈を加えて発信するとともに、他者の経験や、自身そして互いのまちの魅力を知り、ときに対話を重ねながら、学びを深め・共創する機会となることを期待するものです。

このように、国際特別都市建設連盟では、多様な魅力をもつ加盟都市それぞれの取組や資源を活かして、これからの国際交流の大きな推進力となるよう、連携を進めていきます。

月二十日午前七時から、市内二十ヶ所の投票所において、打ち上げられた数発の煙火を合図に、一せいに行われた。当日は早朝来の雨にもかかわらず、この特別法に対する市民の関心と熱意は、投票率



新しい憲法によつて、市民の賛否に問われることになつた「奈良国際文化観光都市建設法」の住民投票は、去る九

奈良国際文化観光都市建設法市民投票終る 投票成績は四都市のトップ！

…文化観光都市建設への途は開かれました！

七割三分五厘という好成績になつてあらわれ、同じくこの日に住民投票の行われた京都市の三割一分五厘、神戸市の四割三分三厘、横浜市の三割九分五厘を断然引離して、四都市中でのトップを切るという結果を生んだのは、市政のため、真によるこぼしいことであつた。

午後六時投票終了後、直ちにその夜、開票計算が行われ、投票結果は、投票総数三〇、〇三九票、有効投票二一九、八二四票、無効投票二一五票で、有効投票の内訳は、賛成 二二、〇八九票 (七四%)、反対 七、七三五票 (二六%)

であつた。

ここに「奈良国際文化観光都市建設法」は、正式に市民大多數の賛成を得て、後は公布を待つばかりとなつたわけである。

(写真は、当夜の開票風景)



昭和25年9月30日印刷
昭和25年10月1日発行

奈良市民だより
【第二號】

發行所
奈良市役所広報文書課
編輯兼發行人 川尻利一
印刷所 奈良共同印刷

★公聴板
市政についての質問、御意見等皆さんの声をお待ちしています。
どしどし市広報文書課へお寄せ下さい。



今月のこよみ OCTOBER

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

市民の協力に感謝

奈良市長 片岡安太郎



古都奈良が輝かしい新生の首途につく「奈良国際文化観光都市建設法」が、ここに市民の皆様の熱意ある御支援によつて、住民投票を完了しその成立を見るに至りましたことは、眞に欣快に堪えないところでありますと共に、心から市民の皆様に感謝申し上げる次第であります。

今更改めて申しのべるまでもなく、奈良市は千二百有余年の昔、つとに大陸文化と交流し、けんらんたる天平文であつたのでありまして、今の余黨をとどめているのであ媚な風光をもつ奈良が、観更に新生の息吹きを通わせを國都法によつて予見し得るため、まことに喜ばしい事と存するのであります。この上はますます市民の皆様の御協力によつて、着々その具体的な施策の遂行に万全を期し、明かるく、楽しい奈良市の建設と、市民の幸福と安寧に懸命の努力を致したいと希念するものであります。

「國都法」の住民投票の成立に当り、つつしんで市民の皆様の御支援に感謝の誠をささげ、更に今後の御協力をお願い申し上げ御挨拶いたします。